

企画展示 林野庁×日比谷ビジネスSDGs

## なぜ今、都会で山林を考えるのか？

～『森林・林業白書』と多業種の木材利用や森林活用参入に学ぶ～



日比谷図書文化館では3階図書フロアにて企画展示「林野庁×日比谷ビジネスSDGs なぜ今、都会で山林を考えるのか？～『森林・林業白書』と多業種の木材利用や森林活用参入に学ぶ～」を行っています。

国土の約7割を占める森林は、水を育み、気候変動の緩和や災害の防止、リラックス効果などの多機能を持ち、環境、防災面からも都会の暮らしを支えます。伐採期を迎えるいま、多業種が木材利用や森林活用に関わり始めています。一方で、林業とのつながりが見えにくい都会では、木を使うことで森の循環・持続性が保たれることに気づきにくいという課題もあります。

企画展示では、6月に公表された『森林・林業白書』で報告された企業の取り組み事例をはじめ、その背景を知る資料や関連本を並べています。持続可能な社会のために、「木づかい」のある暮らしや、森の知恵を活かしたビジネスへのヒントやきっかけを見つけてみてください。また遠方への旅を控える中で、「書物の中で、山にGo To」と題して、山を文字や写真で楽しめることのできる書物も案内しています。また9月23日（水）には関連講座も開催します。（協力：林野庁）

### 開催概要

○ 会期：開催中～9月30日（水）＊休館日：9月21日（月）

○ 会場：3階図書フロア エレベーターホール ○ 入場無料

[https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/information/20200810-3\\_29/](https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/information/20200810-3_29/)

提供協力：株式会社資生堂「BAUM」、株式会社南都木材産業「吉野ひのきマスク」、株式会社東京チェーンソー「メイドイン東京ヒノキの扇子」「山男のガチャ」ほか

**関連講座**

**日比谷カレッジ 林野庁×日比谷ビジネス SDGs**

**なぜ今、都会で山林を考えるのか？～『森林・林業白書』と多業種の木材利用や森林活用参入に学ぶ～**

○ 講師： 河南 健（林野庁 林政部企画課課長）

関本 和彦（TDK ラムダ株式会社 経営企画本部本部長）

小林 道和（株式会社竹中工務店 木造・木質建築推進本部部長）

○ 日時：2020年9月23日（水）19:00～20:45（18:30 開場）

○ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）

○ 定員：60名 ○参加費：1000円

○ 申込方法：ホームページの申込フォーム、または電話（03-3502-3340）

○ ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/information/20200923-sdgs/>

---

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：並木 [namiki-yuri@shopro.co.jp](mailto:namiki-yuri@shopro.co.jp)、高野 [takano-yuta@shopro.co.jp](mailto:takano-yuta@shopro.co.jp)

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3340 / FAX：03-3502-3341

ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>